

# 「のぼす・ひろげる・つなぐ」授業のはじまりです。



今年の入学式は、満開の桜の中で行われ、小学部4名、中学部3名、高等部11名の子どもたちが入学し、本校の児童生徒となりました。現在は、どちらの校舎も桜は葉桜となり、チューリップや水仙、タンポポにナズナ、ムスカリなどが、色とりどりのかわいらしい花を咲かせています。

そして、春山校舎、石崎校舎ともに「のぼす・ひろげる・つなぐ」授業が本格的に始まりました。



校庭の遊具も大活躍！！

地域の資源を活用した「交通安全教室」

船引高等学校との「対面式」



5・6年1組の児童の作品「なかま」です。児童それぞれが、鏡をよく見て！集中して！描きました。



体育館外壁の塗装も終わりました。



春の例大祭にお招きいただきました。地域の皆さん今年もよろしくお願いいたします。



先日、出かけようとしていた私に、小学部2年生の女の子が近づいてきて、「校長先生タンポポだよ」と言葉をかけてくれました。私は「黄色くてかわいいね」と言葉を返し、「どんなかおりがするかな？」と話しかけ、一緒にタンポポの花の香りを楽しみました。何気ないかわりのようですが、彼女が、タンポポを見て心が動き、それを誰かに伝えたいと心が動いたことがとてもうれしく、職員会議で先生たちに話をしました。私たちは、子どもたちひとり一人に心が動く環境を整え、子どもたち一人ひとりの心が動くかわりをこころがけて「のぼす・ひろげる・つなぐ」授業づくりをしていきたいと思ひます。

平成30年4月



～児童生徒一人ひとりの夢の実現をめざして～

福島県立たむら支援学校長 齊藤 恵子